

授業科目の区分等：基礎教育科目 表現力の養成

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	1	選択
担当教員			
弘中 貴子			
C (商学部)	L (基礎科目)	BS (社会人基礎)	102 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	社会生活において必要な日本語運用力を身につけることを目的とした科目。なかでも、社会で求められる能力の一つであるプレゼンテーションに関する基本的な知識と技能について学修し、他者を説得する力や、自己を表現する力を高める。さらに、演習形式の授業形態を用いて、プレゼンテーションを実践することを通して、効果的なプレゼンテーション技法を身につける。		
授業計画	第1回	オリエンテーション 授業概要の説明。 予習 (時間) : シラバスを確認する (30) 復習 (時間) : 授業の全体像を理解する (30)	
	第2回	プレゼンテーション演習 自己紹介プレゼンテーションを実施する。 予習 (時間) : プレゼンテーションの準備をする (30) 復習 (時間) : プレゼンテーションに対する今後の課題を整理する (30)	
	第3回	プレゼンテーションの基礎知識 プレゼンテーションの目的、プレゼンテーションに必要な力について学修する。 予習 (時間) : プレゼンテーション実施の動画を閲覧し、プレゼンテーションに必要な力を整理しておく (30) 復習 (時間) : プレゼンテーションの目的や役割について説明できるようにする (30)	
	第4回	プレゼンテーションの基礎力 プレゼンテーションに必要な企画力、伝達力 (表現力/説得力) の方法について学修する。 予習 (時間) : 教科書指示ページを読み、説得力の高いプレゼンテーションについて理解しておく (30) 復習 (時間) : プレゼンテーションの基礎力について説明できるようにする (30)	
	第5回	プレゼンテーション演習 グループに分かれて、テーマに基づくプレゼンテーションを実施する。 予習 (時間) : プレゼンテーションの準備をする (30) 復習 (時間) : プレゼンテーションの振り返りシートの記入をする (30)	
	第6回	プレゼンテーションの基礎力 プレゼンテーションの構成 (内容の組み立て) について学修する。 予習 (時間) : 配布資料の指示ページを読み、プレゼンテーションの構成について理解しておく (30) 復習 (時間) : プレゼンテーションの構成 (組み立て) について説明できるようにする (30)	
	第7回	プレゼンテーションの基礎力 プレゼンテーションのリハーサルの方法について学修する。 予習 (時間) : 配布資料の指示ページを読み、プレゼンテーションのリハーサルの方法、ポイントについて理解しておく (30) 復習 (時間) : プレゼンテーションのリハーサルについて説明できるようにする (30)	
	第8回	プレゼンテーション中間実技テスト プレゼンテーション中間実技テストを実施する。 予習 (時間) : 中間実技テストの準備をする (30) 復習 (時間) : 中間実技テストの振り返りと課題の整理をする (30)	
	第9回	プレゼンテーション中間実技テストの全体フィードバック プレゼンテーション中間実技試験の全体シェアリングを実施する。 予習 (時間) : プレゼンテーション中間実技テストの動画を確認し、自らのプレゼンテーションに対するフィードバックシートの記入を行い、他者のプレゼンテーションに対するコメントを整理する (30) 復習 (時間) : プレゼンテーション中間実技テストの整理をする (30)	
	第10回	プレゼンテーション中間実技テストの全体フィードバック プレゼンテーション中間実技試験の全体シェアリングを実施する。 予習 (時間) : プレゼンテーション中間実技テストの動画を確認し、自らのプレゼンテーションに対するフィードバックシートの記入を行い、他者のプレゼンテーションに対するコメントを整理する (30) 復習 (時間) : プレゼンテーション中間実技テストの整理をする (30)	
	第11回	プレゼンテーションツールの使い方 プレゼンテーションソフト、ツールの使い方について学修する。 予習 (時間) : 教科書指示ページを読み、プレゼンテーションツールについて理解をしておく (30) 復習 (時間) : プレゼンテーションソフト、ツールを使用し、中間実技試験の資料を作成し直す (30)	
	第12回	プレゼンテーション実技試験の準備 個別にプレゼンテーション実技試験の準備を実施する。 予習 (時間) : プレゼンテーションの準備をする (30) 復習 (時間) : プレゼンテーションの振り返り、フィードバックを基にした課題の整理をする (30)	
	第13回	プレゼンテーション実技試験のリハーサル グループに分かれて、プレゼンテーション実技試験のリハーサルを実施する。	

	<p>予習（時間）：プレゼンテーション実技試験の資料の準備をする（30） 復習（時間）：グループ内でのフィードバックをもとに、プレゼンテーション実技試験にむけて、資料の修正を行う（30） プレゼンテーション実技試験 プレゼンテーション実技試験を実施する。 予習（時間）：実技試験の準備をする（30） 復習（時間）：実技試験の振り返りシートの記入をする（30）</p> <p>第14回</p> <p>第15回 総括授業 プレゼンテーション実技試験全体講評と個別のフィードバックの実施および、授業全体の総括を行う。 予習（時間）：他者のプレゼンテーションに対するフィードバックコメントの整理をする（30） 復習（時間）：全授業内容の復習を行う（30）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>DP（商学部）の「情報を収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢」を意識した科目になっている。</p> <p>【身に付くスキル】 表現力・論理的思考力</p>
到達目標	<p>①社会生活におけるさまざまな場面で、他者に対して説得力、自己表現力のある日本語が使えるようになる。 ②大学内（ゼミナールやプロジェクトなど）におけるプレゼンテーション場面において、効果的なプレゼンテーションを行えるようになる。 ③大学内外（ビジネスコンテストなど）におけるプレゼンテーション場面に積極的に参加できるようになる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>授業内に中間実技（プレゼンテーション）テストを実施します。実技テスト翌週に、個別にフィードバックを行います。</p>
履修上の注意	<p>特になし</p>
成績評価の方法・基準	<p>①プレゼンテーション実技試験50% ②振り返りシートなどの提出課題20% ③学修意欲（プレゼンテーションの準備含む）30%</p>
教科書	<p>[図解]すぐに使える！論理思考の教科書 著者名：西村克己 出版社：PHP文庫 発行年：2017年 価格：680円 大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編 著者名：橋本 修／安部 朋世／福嶋 健伸 編著 出版社：三省堂 発行年：2016年 価格：1900円 大学生のための日本語表現トレーニング 実践編 著者名：橋本 修／安部 朋世／福嶋 健伸 編著 出版社：三省堂 発行年：2016年 価格：1900円</p>
参考書・教材	<p>【参考書】 『プレゼンテーションの教科書 第3版』 著者名：脇山 真治 出版社：日経BP社 発行年：2015年 価格：3024円 『ロジカル・プレゼンテーション——自分の考えを効果的に伝える戦略コンサルタントの「提案の技術」』 著者名：高田 貴久 出版社：英治出版 発行年：2004年 価格：1944円 『改訂版 J検 情報デザイン完全対策公式テキスト』 著者名：一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 監修 出版社：日本能率協会マネジメントセンター 発行年：2014年 価格：2200円</p>
備考	<p>演習科目／実務家教員による授業</p>
教員との連絡方法	<p>オフィスアワー、メール（詳細は授業内で周知する）</p>